



豊かな自然の恵みと災害の脅威、人と自然が寄りそって災害に対応するためには・・・



リンドウ



センブリ



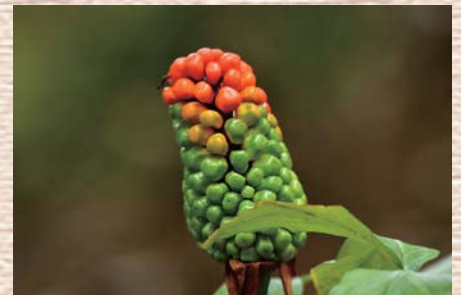
アサギマダラ



センニンソウ



タマミズキ



マムシグサ



ムラサキシキブ



コウヤボウキ



コバナガズミ

豊かな自然の恵みと災害の脅威

日本は、傾斜が大きい急流な河川が多く、世界有数の地震国であり、有数の火山国でもあります。はっきりとした四季の変化があり、雨が多く、時には大きな台風にも襲われます。

古（いにしえ）より、台風や地震、河川の氾濫、土砂崩れなどが何度も発生し、人命や財産を奪われる災害となって、大きな被害をもたらしてきました。

同時に、このような国土の特性は、優れた自然景観や固有の生態系を持つ、世界でも類をみない生物多様性に恵まれた国土となり、世界中から多く人が訪れるようになりました。

箕面でも、箕面大滝と急峻な渓谷美、明治の森箕面国定公園に代表される四季折々に美しい豊かな自然は、多くの行楽客や市民に親しまれ、近年は外国人も多く訪れるようになってきました。

台風の影響による土砂崩れや倒木による被害

昨年10月に発生した台風21号は、大雨を伴った暴風となり、箕面の滝道では、土砂崩れや倒木、道のひび割れなどにより、観光シーズンにもかかわらず箕面大滝までの滝道が通行禁止となり、1年かけて復旧するという大きな被害を受けました。

今年9月4日の台風21号は、記録的な暴風を伴い、近畿を直撃し、高潮による空港の閉鎖や暴風などによる大きな被害をもたらしました。箕面の山でも、スギ・ヒノキの植林地を中心に自然林も含めて、各所で倒木が発生し、国定公園の自然研究路の全てが通行止めになるなど、大きな被害を受けました。